

令和7年 北秋田市議会 6月定例会
代表質問通告者一覧表

○ 代表質問について

登壇順	会 派 名	氏 名	質問方法	備 考
1	共産党議員団	板垣 淳	総括質問	6月12日
2	清明会	小笠原 寿	総括質問	6月12日
3	新創会	佐藤 文信	総括質問	6月12日

代 表 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 6 月定例会

順位	1	質問者	日本共産党議員団	板垣 淳	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 総務部の施策について ①職員の心身の健康維持のための施策は。 ②職員の不祥事をなくすための対策は。 ③「新たな交通モード導入」とは具体的にどのようなものか。 ④「交通弱者に配慮したサービス」と、じょうもんパスの値上げは矛盾するのではないか。 ⑤内陸線の経常損失目標 1 億 6,500 万円以内のための新たな取り組みは何かあるか。 2. 財務部の施策について ①市債の繰上償還は現実に今年度どれくらい可能か。 ②使用できない空き公共施設は早期に解体すべきでないか。 3. 市民生活部の施策について ①「女性の活躍推進事業」はどのようなことを行うか。 ②特殊詐欺対策の「相談体制の充実」をぜひすすめてほしいが、どのようなことを行うか。 ③「窓口業務の省力化に向けたフロントヤード改革」とはどのようなことか。 4. 健康福祉部の施策について ①保育所の「あり方について関係機関と協議・検討」するとはさらなる統廃合を考えているということか。だとすればそれはどこか。 ②介護サービスを提供する「外国人」の人数、職種、資格、身分、住居等はどのように想定しているか。 ③「検診受診率の向上を目指す」方向と、検診会場を減らしていることは矛盾するのではないか。 ④医師確保で「県内外から誘致」の具体的方法は。 ⑤「訪問看護強化」の方針だが昨年度 1 事業所が廃止した。強化するための手立ては。						

5. 産業部の施策について

- ①コメ不足対策で考えていることは。
- ②学校給食米、ふるさと納税返礼品米は足りているか。
- ③SDGsに基づく小水力、地熱などを積極的にすすめるべきでないか。

6. 教育委員会の施策について

- ①全国的に不登校が増加している。当市の実態と対策は。
- ②森吉コミュニティセンター改築のスケジュールは。

代 表 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 6 月定例会

順位	2	質問者	清明会	小笠原 寿	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 総合政策について ①地域公共交通について 1) 施政方針で地方交通対策について、「地域や利用者の実態を踏まえながら路線の再編や運行形態の見直し、新たな交通モードの導入など、交通弱者に配慮した公共交通サービスの在り方を検討してまいります。」と記述されているが、どのような内容を検討されているのかお聞かせ願いたい。 2) 運転免許を返納した高齢者や障がい者などからは、可能な限り門口からのきめ細かい交通サービスを求められる。交通再編を考えるうえで「自治体ライドシェア」を加えた交通サービスを提供できないか。 3) 少子化により、学校統合で児童・生徒はスクールバスの利用が多くなっている。現在、スクールバス運行业務委託契約で一般貸切旅客自動車運送事業者が行っているが、車両の空白時間を利用して部署の枠を超えて病院までの運行など、きめ細やかな交通サービスができないか。 ②秋田内陸縦貫鉄道について 1) 国土交通省の「鉄道事業再構築実施計画の認定」により、秋田県による鉄道施設及び車両の更新・整備、修繕・維持管理に要する費用負担や、北秋田市及び仙北市による秋田内陸縦貫鉄道株式会社の運営経費に対する補助などの支援が決定したが、経常損失1億 6,500 万円以内の経営目標はインバウンドを含めた観光利用客増加無しでは容易でないと考える。どのような施策を検討しているのかお聞かせ願いたい。 2. 産業政策について ①ホテル誘致について 1) 関係人口の創出拡大策として、「ビジネスや観光など多様な宿泊施設の誘致に取り組む。」と昨年に引き続き施政方針に記述されている。昨年度「北秋田市産業振興促進条例」の一部を改正されたが、宿泊施設誘致についてこれま						

でどのような動きをして、経過はいかようなものか。

- 2) 北秋田市が宿泊施設を誘致していることを広くプレスリリースすべきではないか。

3. スポーツ振興について

①アーバンスポーツ・ニュースポーツについて

- 1) 施政方針で「若者を中心に盛り上がりを見せているアーバンスポーツや子どもから高齢者まで誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの啓発及び環境整備に取り組む。」と記述されている。市長は選挙公約の中で、「平時の際はスケボーパーク等のアーバンスポーツ練習場となる防災避難施設の整備」を掲げていたが、どのようなイメージを描かれているのか、また具体的に候補地として検討している場所はあるかお聞かせ願いたい。

4. 教育振興について

①地域に根ざしたキャリア教育・ふるさと教育について

- 1) 施政方針には「ふるさとを愛し、ふるさとを支えようとする子どもの育成については、郷土資料集《きらり☆きたあきた》を活用し、児童生徒のふるさとへの想いがより強くなるよう地域に根ざしたキャリア教育に取り組む」とされている。令和6年度の第1回北秋田市総合戦略検証会議でもこの郷土資料集《きらり☆きたあきた》については委員からたいへん評価が高く活用が望まれていた。児童生徒のみならず、多くの人が拝読できるように冊子に限らず、市のホームページ等で閲覧できるようにしてはどうか。

②公民館、生涯学習環境整備について

- 1) 施政方針で「地域住民による学習支援、体験活動、見守り、環境整備など地域学校協働活動の維持、充実に取り組んでまいります。」と記述している。地域づくりの核として、森吉コミュニティーセンタの改築について記述されているが、北秋田市でもっとも人口の多い鷹巣地区の旧町内と言われる中心部に生涯学習・活動を行える集会場所が少ない。他地域には公民館の他、自治会館や交流センター・環境改善センターがある。地域住民のコミュニティの場、学習支援、体験活動が行える環境整備が必要と考えるが市長の考えは。

代 表 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 6 月定例会

順位	3	質問者	新創会	佐藤 文信	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 観光振興について ①ホテル建設の取り組みについて 昨年の会派代表質問でも滞在型としてのホテル建設の必要性を伺ったところ、答弁として、民間事業者による新たな宿泊施設の誘致に前向きに取り組みたい考えを表明されました。そして、今年の市長選挙の公約や所信表明でもビジネスまたはリゾートホテルの誘致を掲げていますが、昨年度の取組状況と実現に向けて体制は。 2. 財産管理について ①公共施設の解体に向けて、基金の積み立てを 3 月定例会で 5 億円、4 月の臨時議会で 5 億円の合わせて 10 億円となりました。北秋田市公共施設等総合管理計画では類型別施設の一覧表があり、その中で適正化の方向性が記載されており、これをベースに再利用、譲渡、解体の判断がされると思いますが、時間をかけることなく速やかに結論を出すことが今後発生する費用負担の軽減を図ることが可能と思いますが、見解を伺います。 3. ゼロカーボンシティ宣言について ①2024 年 2 月 15 日に、2030 年までに市内の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言しました。また、4 月 23 日の所信表明でも地域資源である森林の活用や再生エネルギーの研究を推進し企業誘致に取り組むことを掲げていますが、今までの取り組みとその成果についての認識は。 ②先日、北秋田市活性化セミナーが開催され、「木質バイオマス発電の利活用について」と「小水力発電の経済効果について」の講演があり、その内容は今後の北秋田市にとっての経済効果とゼロカーボンシティの実現に向けて極めて有意義な方策と思いますが、取り組みも含めて見解を伺います。 ③2030 年までにゼロカーボンシティを目指す取り組みの一つとして、エネルギー消費効率の高い空調、照明、給湯の各設備、機器を導入、更新する市民や事業者に対し一部助成する考えは。						